

H29B3 三

物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

自校採点結果による
正答率(25.1)%

《問題》話し合いの様子の一部【中のB】のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

- 〈条件〉
- ……の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
 - 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

■物語のこれまでのあらすじ
ごんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが孫のとび吉と二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】
たずねてきたのは、山野さんという、まだわかい新聞記者でした。山野さんは、いっしょうけんめいにいいました。「こんどの日曜版に、きつねの特集をやるんです。それで、このごんざ山にはきつねがいるということですので・・・、その写真をおもいます。」
「そこまできくと、松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました。「いねえ、いねえ。ごんざ山のきつねはいねえ。人間にうちとられたり、病気がかかったりしてのう。」
(略)

【話し合いの様子の一部】
横山 ここにもあるよ。

「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることができるね。

田中 そこからも、きつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。
B

《正答例》「松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました」というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。

授業場面で(根拠となる言葉と自分の考えをつなぐ、理由付けがみられる授業)

松ぞうじいさんたちの正体についてまとめましょう。
《文字数・キーワードを確認》
「仲間」「人間」という言葉を使って、40字くらいで書きましょう。

Point【振り返り】
焦点化した明確な発問をし、キーワードや文字数等の条件を見直し確認し合います。

何に目を付け、どのように理由付けをすれば、自分の考えをつくれたのかを振り返りましょう。

Point【振り返り】
「自分の学習に対する考察(振り返り)」では、活動に対する成就感だけでなく、どのような見方・考え方を働かせ、どのような能力が身に付いたかを明確に価値付けます。

「人間に打ち取られたり」という松ぞうじいさんの言葉から、どうして「二人はきつね」だと考えることができるのですか？

Point【交流の質】
上記のような切返しの発問を行います。登場人物の言動【見方】と、考えをつなぐには、言葉の「置き換え」や「仮定」(もしも～だったら)、「条件付け」(～だからこそ)、体験等とつないで【考え方】、理由付けすることを共有します。

もし、松ぞうじいさんが人間ならば、「人間に」や「うちとられた」とは言わないと思います。

そうだね。きつねだからこそ、「人間にうちとられた」と言ったんだね。

Point【見方・考え方の発揮】
根拠となる言葉と考えをつないだ説明を称賛します。

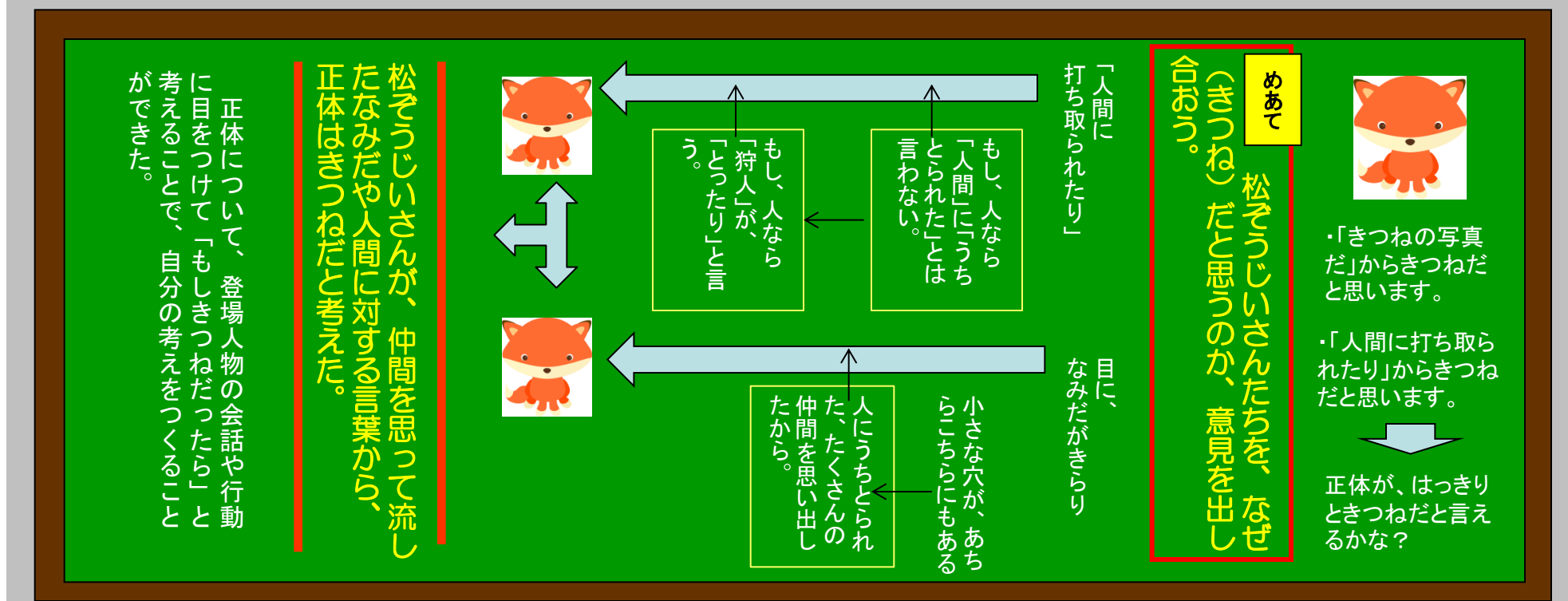
松ぞうじいさんやとび吉は何者でしょうか？また、なぜ、〇〇だと思うのか、教科書の文章から、根拠を探して考えを出し合ひましょう。

Point【問いの重視】
登場人物の人物像等、初読では明らかでない事柄【不十分さ】を取り上げることで、問題意識が高まります。また、めあてや見通しにおいて文章中の言葉を根拠に、考えをつくることを共有します。

「きつねの写真だ」と書いてあるから、二人はきつねだと思います・・・。

「人間に打ち取られたり」から、きつねかな・・・。

終末
展開
導入



- 手紙の構成を理解し、後付けを書くことができるかどうかをみる。
- 俳句の情景を捉えることができるかどうかをみる。

H29A [2] 二

自校採点結果による正答率(43.3)%

二 松本さんは、手紙の後付け(手紙の最後に付ける内容)を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の [ア] [イ] [ウ] の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

4	ア 日付	イ 自分の名前	ウ 相手の名前
3	ア 相手の名前	イ 日付	ウ 自分の名前
2	ア 日付	イ 相手の名前	ウ 自分の名前
1	ア 自分の名前	イ 日付	ウ 相手の名前

2

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々の暮らしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってみると、せんたく機だけでは落ちないようなよなよなこれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よこれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア

イ

ウ

【正答】 4
ア 日付
イ 自分の名前
ウ 相手の名前

【誤答の原因】
・手紙の基本的な形式やその意味について理解していない。また、実際に活用する機会が少ない。

【指導のポイント】

- ・手紙の形式(言葉)やその意味【見方】について指導する。
- ・どの言葉【見方】を使うと、相手に伝えたい中心が伝わるかを考えて【考え方】、手紙を書くように指導する。
- ・中学年の段階から、基本的な形式に基づいた手紙を書く活動を意図的・計画的に設定し、くり返し指導する。

【見方、考え方の定着】

※単元の全体像が見える工夫や、論点を明確にした話し合い活動を行う。

【出題の趣旨】
手紙の後付けに必要な日付、署名、宛名をそれぞれ適切な位置に書くことに課題がみられたことをふまえての出題。

【過去の類似問題】
平成24年度 小学校全国学力・学習状況調査 国語B [1] 三

H29A [4] 二

自校採点結果による正答率(60.7)%

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

4	言葉のひびきや作者の季節を感じる心
3	それぞれの作者の生き方や考え方
2	月の形が変化する様子や構成のくふう
1	季語の使い方や季語から想像したこと

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪どけてくりくりしたる月夜かな
小林一茶

（調べた内容）
季語：雪どけて 季節：春
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくがやく夜だなあ」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風
上島鬼貫

（調べた内容）
季語：秋の風 季節：秋
この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらにも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさをもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような感じがした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えなかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

【正答】 1
音読のひびきや
作者の季節を
感じる心

【誤答の原因】
・二つの俳句の情景や表現の特徴を捉えていない。
・「話し合いの様子」から、紹介する際の観点を捉えていない。

【指導のポイント】

- ・俳句の基本的な形式や、使われている言葉、リズムや響きなどのよさ【見方】について、指導する。
- ・言葉のもつよさ【見方】を感じ取ることができるように、複数の俳句を読み比べてよさを考える【考え方】指導をする。
- ・中学年の段階から、リズムや言葉のよさを実感できるように、俳句にふれる場面を計画し、くり返し指導する。【見方、考え方の定着】

※単元の全体像が見える工夫や、論点を明確にした話し合い活動を行う。

【出題の趣旨】
俳句の情景や表現の特徴を踏まえた上で、話し合いの内容に沿って俳句を紹介する観点を捉えることができるかどうかをみる。

【過去の類似問題】
平成25年度 小学校全国学力・学習状況調査 国語A [6] アイ